第22回
信用金庫社会貢献賞

会長賞

奈良中央信用金庫

奈良県

〈特別支援学校との交流・協働〉

誰もが個性を生かし当たり前に活躍できる社会を

奈良中央信用金庫は1992年から、さまざまな交流を通じて、障がいのある方たちの社会参加や社会復帰の場を提供している。これは同金庫が奈良市の障害者支援施設が主催する音楽コンサートに協賛したのを機に、同施設の入居型福祉ホームの建設費用を支援しようと、チャリティーコンサートを主催したことに始まる。

この交流をきっかけに、1996年には障がい者アートを金庫で使う礼状用ハガキのデザインに採用。定期積金の成約粗品や金庫の周年記念グッズなど、顧客サービス品にも用いるようになったが、さらに金庫役職員の理解をより深め、障がい者の社会参加の機会提供に一層資するため、2012年、県内にある3つの特別支援学校（高等養護学校、明日香養護学校、西和養護学校）との交流・協働を本格的にスタートさせた。

以来、本店ロビーで開催する養護学校生の作品によるアート展は、毎年の恒例に。当初、民間のスペースを利用したこのような展示は奈良県内初の試みだった。そのほか、地域の清掃をするクリーンキャンペーン、異業種交流組織「ならちゅうしん経営研究会」総会の受付業務など、養護学校生と職員の交流・協働の場をつくっている。生徒たちは、社会との接点が増えたことで自信につながり、学校でも活発になるなど変化をみせている。また、アート展の出展者からは、新たな創作意欲が湧いているとの声も聞かれる。

一方、金庫役職員にとっては、これらの機会を通じて障がいに対する誤った先入観が払拭され、障がい者雇用における庫内風土の醸成にもつながっている。

特別支援学校の皆さんと職員が力を合わせての清掃活動。
今では会話も弾んで和やかに

「ならちゅうしん経営研究会」総会で受付担当をする
生徒さん。ホテルでの活動が貴重な社会体験に

70周年記念事業の一環として、2つの特別支援学校アート展
に70万円を寄付

地元で開かれた「アート・就労・暮らしをつなぐフォーラム」に登壇し、奈良中央信用金庫への熱い想いを語る岸本さん

養護学校出身の岸本亜矢子さんの願いと、当金庫の思いが合致して実現した70周年記念定期通帳と、彼女のカレンダーのイラストを用いたサービス品

本店ロビーで毎年11月に開催の「特別支援学校アート展inならちゅうしん」。メディア取材に応じる生徒さんの受け答えも堂々としたもの

喜び、感動が活動の原動力に

奈良中央信用金庫　業務推進部　上席専任役
水上 和要

*

このたび「会長賞」という最高の賞をいただいたことは、長年、社会貢献活動を担当してきた者として感慨ひとしおです。

今回の活動では、単に表面的な活動に終わらないよう心掛け、活動の数日前には特別支援学校の生徒さんと本店で打ち合わせ面談し、当日は大勢の前での自己紹介、時にはメディア取材など、生徒さんの将来の社会参加や就労につながるような機会を提供しています。そして、活動に参加された生徒さんが就職されたと聞けば喜び、当初から交流が続く岸本亜矢子さん（明日香養護学校卒）からの「ちゅうしんの通帳デザインの仕事で夢が叶った。お手伝い感覚ではなく、初めて自分に任された感じがしてうれしかった」との声には、多くの役職員が感銘を受けました。

今後もこのような喜び、感動を原動力として、そして今回の受賞を励みに、当金庫では社会貢献活動に取り組んでまいりたいと思います。

役職員の障がいへの理解が深化

奈良中央信用金庫　理事長
高田 知彦

*

このたびは、第22回信用金庫社会貢献賞「会長賞」というたいへん大きな栄誉を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

当金庫と障がいのある人たちとの交流は平成の初めにスタートしていましたが、その交流が細く長く続くなか、地元で障がい者の就労支援をしておられるNPO法人ならチャレンジドが取り持つご縁により、2012年に県内の特別支援学校との交流、協働がスタートしました。

特別支援学校の生徒さんと金庫の役職員がさまざまな活動に一緒に取り組むなか、最初のうちは互いに手探り状態であったものが、今では生徒さんと金庫の者が打ち解けて楽しそうに活動する姿を目の当たりにし、相互理解の深まりとともに当金庫役職員の障がいに対する理解、深化につながっていると感じています。

今回の受賞を励みに、これからも“良き企業市民”としてのさまざまな取り組みを進めてまいりたいと存じます。

お祝いのメッセージ

共生社会と信用金庫

奈良県副知事
村田 崇

このたび、奈良中央信用金庫の取り組み「特別支援学校との交流・協働」が第22回信用金庫社会貢献賞「会長賞」を受賞されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

奈良県では、2016年に「奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例」を制定し、全県民が障害の有無に関わらず、相互に人格と個性を尊重し合い、安心して幸せに暮らせる社会の実現を目指しています。

今回受賞の取り組みは、障害のある人との自然な関わりや心の交流を育むものであり、本県における共生社会形成への大きな一歩であります。また、障害者理解を深めるための真摯なご尽力は、相互扶助や地域密着度の高さという、信用金庫ならではの特性の現れであると思います。

今後とも、奈良中央信用金庫が共生社会のリーダーとして諸活動を展開され、ますます発展されますことを祈念し、お祝いの言葉といたします。